

能登半島地震を経験して医療・介護 連携で考えられること

～石川県介護支援専門員協会の震災支援を経験して見えてきたもの～

石川県介護支援専門員協会 副会長 池田 知子

2025年10月16日

自己紹介

所属:サンケア城東店(金沢市菊川 ケアマネジャー5名在籍)

基礎資格:介護福祉士 ケアマネジャー歴15年

2018年～ 金沢真辺塾 塾生 真辺一範先生に師事

2019年4月～2025年3月 石川県介護支援専門員協会金沢支部長

2025年4月～ 石川県介護支援専門員協会副会長

石川県介護支援専門員協会について

●会長 北山 達郎(千寿苑施設長)

●会員数**545名**(2025.4.21) 金沢支部 172名 南加賀支部 89名 白山野々市支部 57名
かほく支部 40名 能登中部支部 133名 能登北部支部 54名

●概要 平成12年5月発足。全国でいち早く介護支援専門員のための組織として発足。

「一般社団法人日本介護支援専門員協会(JCMA)」の地方支部

●所在地 石川県金沢市本多町3-1-10(石川県社会福祉協議会 内)

●2025年 事業計画(重点目標)

(1)組織内の連携強化と情報共有の推進

(2)会員の要望に対する支援

(3)関係機関との連携強化

今日のお話

能登半島地震発災直後の県庁や1.5次避難所における石川県介護支援専門員協会の活動内容と活動から見えてきた課題や気づき、そして金沢市での災害に対する備えなど、**介護支援専門員の視点**からお話します。

能登半島地震被害の概要

(令和7年3月末時点)



最大震度 7
M7.6



死者
549人

うち災害関連死 321人



行方不明者
2人



負傷者
1,267人

重傷391人 / 軽傷876人



住家被害
115,681棟

全壊・半壊・一部破損・
床上浸水・床下浸水



避難者 最大
34,173人



停電 最大
39,900戸



携帯支障 最大
70~80%



断水 最大
110,000戸

立入が困難な一部の地区を除き、
応急復旧がおおむね終了
立入困難地点については、道路啓開後原
則3日以内に応急復旧予定

※建物倒壊や土砂崩れ、
電気未復旧などにより
早期復旧が困難な地区を除く

火災



[その他の画像 >](#)

土砂崩れ



[その他の画像 >](#)

震度分布

海岸隆起



[その他の画像 >](#)

液状化



[その他の画像 >](#)

津波



[その他の画像 >](#)

名所・旧跡



[その他の画像 >](#)

家屋倒壊

道路



能登半島地震における当協会の主要支援活動

1. 1.5次避難所におけるマッチング業務

いしかわ総合スポーツセンターを拠点とした1.5次避難所でのアセスメント業務とマッチング業務

2. 被災高齢者把握事業への協力

被災された在宅の要介護高齢者に対し被災高齢者等把握事業を活用しケアマネジャーなどが個別訪問等により、早期の状態把握や必要な支援へのつなぎ等を実施

3. 介護支援専門員ボランティアの募集・派遣

日本介護支援専門員協会で、被災地の石川県等で、現地の介護支援専門員の後方支援、要介護高齢者等の実態把握および支援活動をしていただく介護支援専門員を募集

令和6年能登半島地震への厚生労働省の対応①

初動対応・応急対策（主な取り組み）

<医療支援>

- ◆災害派遣医療チーム（DMAT）、災害派遣精神医療チーム（DPAT）等の医療チームや看護職員、薬剤師等の派遣
- ◆医療コンテナやモバイルファーマシーの活用



【石川県DMAT調整本部】



【DMAT現場活動（患者搬送）】

<水道の復旧>

- ◆全国からの給水車の出動による応急給水の実施
- ◆水道事業にかかる技術者派遣による応急復旧

<医療保険等における特例措置>

- ◆保険証がなくても、医療・介護・障害福祉サービスを受けられる措置の適用
- ◆医療サービス等に係る支払いが困難な被災者に対し、窓口負担の支払いの免除等

<被災地における健康支援・感染症対策>

- ◆保健師等チーム・災害時健康危機管理支援チーム（DHEAT）の派遣
- ◆災害時保健医療福祉活動支援システム（D24H）等を活用した避難所支援
- ◆被災地における栄養・食生活支援
- ◆災害時感染制御チーム（DICT）や国立感染症研究所等の感染症専門家による避難所等の感染症対策
- ◆「石川こころのケアセンター」や「親子のための相談LINE」等の相談窓口の開設

<福祉的支援等>

- ◆避難所や1.5次避難所における災害派遣福祉チーム（DWAT）の派遣及び介護職員等の応援派遣
- ◆1.5次避難所に避難している高齢者の県内外の福祉施設への入所調整を実施。



【DICTの避難所ラウンドの様子】



【1.5次避難所内に設置したDWATによる「なんでも福祉相談コーナー」】

令和6年能登半島地震への厚生労働省の対応②

復旧・復興期の支援（主な取り組み）

<生活の再建に向けた経済的支援>

- ◆社会福祉協議会が行う生活福祉資金貸付制度の特例措置
- ◆新たな交付金制度（※）の創設
※ 石川県内の6市町を対象に住宅半壊以上の被災をした高齢者世帯等を対象に家財や住宅再建費用を支援

<雇用・労働に対する対応>

- ◆地域の雇用対策等
 - ・雇用調整助成金の特例措置の実施
 - ・雇用保険の失業手当の特例措置の実施
 - ・特別労働相談窓口の設置
- ◆中小・小規模事業者の支援
- ◆復旧作業に従事する労働者の安全と健康の確保

<医療施設、社会福祉施設等の復旧>

- ◆激甚災害の指定に伴う、施設復旧に係る補助基準額の上限撤廃や補助率の引上げ等の特例措置

<被災者の見守り等>

- ◆保健師等による巡回訪問
 - ・全国の自治体から保健師等が派遣され、避難所や自宅で生活する被災者への巡回訪問や健康管理の支援及び避難所等の衛生対策等を実施。

◆被災高齢者の把握

- ・被災された在宅の要介護高齢者等に対し、被災高齢者等把握事業を活用し、ケアマネジャーなどが個別訪問等により、早期の状態把握や必要な支援へのつなぎ等を実施。

◆被災者見守り・相談支援

- ・生活支援相談員が仮設住宅入居者等に対して個別訪問等を行い、見守りや日常生活上の相談支援を行った上で被災者を各専門相談機関へつなぐ取組を実施。

【日本語】

令和6年能登半島地震に伴う雇用保険の基本手当の特例措置について

1 ハローワークに雇用できない場合は、「失業の認定日の見直し」が出来ます。

2 独自のハローワークでも失業認定の手続きが出来ます。

3 「災害時における雇用保険の特例措置」があります。

【英語】

Special Measures for the Basic Allowance of the Unemployment Insurance in Response to the 2024 Noto Peninsula Earthquake

1 You can change the date of the unemployment certification day if you cannot work.

2 You can receive the unemployment certification at the Hello Work office in your area.

3 There are special measures for unemployment benefits in the event of a disaster.

【仮設住宅初回巡回訪問】



【仮設住宅におけるコミュニティ支援】



1.5次避難所の全体概要（1/15変更案）



いしかわ総合スポーツセンター

----- 床数が足りないので、DMAT管理で一本化 -----

メインアリーナ

要配慮者向けの避難所
収容数：最大約500人
テント数：約240

入所者



高齢者・障害者・未就
学児などの要配慮者と
その同伴者

マルチパーパス

施設入所者の待機所
収容数：最大40人(床)

入所者



被災施設から別の施設に
移る高齢者（要介護度
高）

サブアリーナ

メインアリーナで生活するのが困難な
避難者向けの避難所
収容数：最大60人
（間仕切り30×ベッド2床）

入所者



肢体不自由、認知症、精
神疾患などにより介助や見
守りが必要な方

産業展示館2号館

健常者向けの避難所
収容人数：最大約150人
テント数：約80

入所者



SCの入所者要件に当て
はまらない健常者

----- メインのキャパ不足により要配慮者も一部収容 -----

<備考>

マルチパーパスは行先が施設限定であり、
マルチパーパスに配置されたケアマネ協職
員がアセスメント結果を県庁のケアマネ協
職員に送り、行先をマッチング

マルチパーパス 待機者…医療等支援者も含めて

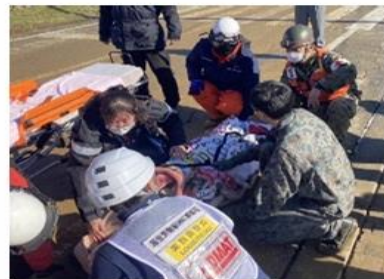


多様な主体による避難所支援

- 医療支援、衛生管理・健康管理、福祉的支援といった様々な専門職チームが、避難所での支援活動を行った。また、モバイルファーマシーが派遣され、薬剤師が乗車して医薬品を供給する取組も行われた。
- また、DMATや保健師は、避難所での支援に加え、在宅や車中泊といった避難所以外で避難生活をおくる避難者についても、発災直後から個別に訪問する等により状況の把握や健康管理を実施した。

■ 医療支援

- DMAT（災害派遣医療チーム）
- 自衛隊
- JMAT（日本医師会災害医療チーム）
- DPAT（災害派遣精神医療チーム）
- 災害支援ナース（日本看護協会）
- 日赤救護班
- JDAT（日本災害歯科支援チーム）
- JRAT（日本災害リハビリテーション支援協会）
等



■ 衛生管理・健康管理

- DHEAT（災害時健康危機管理支援チーム）
- 保健師等
- JDA-DAT（日本栄養士会災害支援チーム）
- DICT（日本環境感染学会災害時感染制御支援チーム）
等

■ 福祉的支援

- DWAT（災害派遣福祉チーム）
- 介護職員等の派遣（1.5次避難所、福祉施設）
等



活動内容概要

石川県健康福祉部長寿社会課より

業務委託を受けて

能登施設から
直接避難するための

施設マッチング業務

1.5次避難者が
2次避難するための

施設マッチング業務



2次避難を円滑に
実施することを目的
とした1.5次避難者の
状態像把握のための

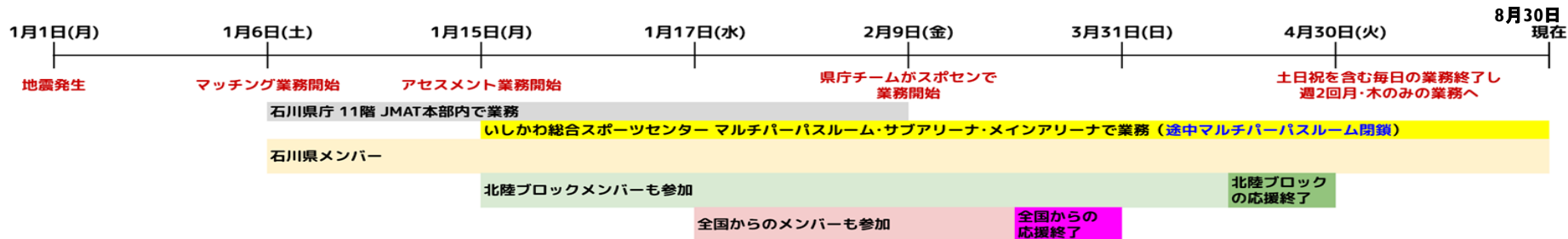
アセスメント業務

※1.5次避難所 = いしかわ総合スポーツセンター





活動詳細



マッチング業務とアセスメント業務

協力延べ人数

※個人の重複あり



919名



1.5次避難者詳細 (表データは石川県への避難者のもの)

元市町村別	人数
合計	319名
珠洲市	137名
輪島市	118名
能登町	41名
穴水町	8名
志賀町	
七尾市	15名

介護度別	人数
合計	334名
要介護1	49名
要介護2	62名
要介護3	58名
要介護4	42名
要介護5	18名
要支援1	15名
要支援2	24名
申請中	18名
認定なし	30名
不明	17名
事業対象者	1名

マッチング曜日別	人数	ランク	割合
月	33名	3位	17.0%
火	28名	4位	14.4%
水	36名	2位	18.6%
木	26名	5位	13.4%
金	38名	1位	19.6%
土	16名	7位	8.2%
日	17名	6位	8.8%
合計	194名		100.0%

↑上記【曜日別】と【要介護度別】色分け

: 1位
 : 2位
 : 最下位と下位2番目

マッチング者 介護度別	人数	ランク	割合
認定なし	14名	7位	5.6%
不明	16名	5位	6.4%
申請中	10名	8位	4.0%
事業対象者	0名	11位	0.0%
要支援1	7名	10位	2.8%
要支援2	16名	5位	6.4%
要介護1	38名	4位	15.3%
要介護2	48名	2位	19.3%
要介護3	50名	1位	20.1%
要介護4	40名	3位	16.1%
要介護5	10名	8位	4.0%
合計	249名		100.0%

福井県

24名

富山県

17名

岐阜県

3名

=

378名

(1.5次=230名、能登施設=約100名)

計=約330名マッチング



石川県への避難者のマッチング状況

マッチング日	曜日	人数
合計		194名
1月14日	日	8名
1月15日	月	3名
1月16日	火	5名
1月17日	水	8名
1月18日	木	4名
1月19日	金	19名
1月20日	土	1名
1月21日	日	3名
1月22日	月	12名
1月23日	火	10名
1月24日	水	7名

1月25日	木	5名
1月26日	金	9名
1月27日	土	5名
1月28日	日	1名
1月29日	月	9名
1月30日	火	1名
1月31日	水	11名
2月1日	木	5名
2月2日	金	4名
2月4日	日	1名
2月5日	月	1名
2月6日	火	3名

2月7日	水	5名
2月8日	木	2名
2月11日	日	2名
2月12日	月	1名
2月15日	木	1名
2月16日	金	1名
2月17日	土	3名
2月22日	木	3名
2月24日	土	2名
2月26日	月	1名
2月27日	火	1名
2月28日	水	1名

2月29日	木	1名
3月4日	月	3名
3月5日	火	1名
3月6日	水	3名
3月7日	木	3名
3月12日	火	1名
3月18日	月	1名
3月19日	火	3名
3月23日	土	2名
3月25日	月	1名
3月27日	水	1名
3月29日	金	1名

4月1日	月	1名
4月11日	木	1名
4月12日	金	4名
4月13日	土	1名
4月16日	火	1名
4月20日	土	2名
4月21日	日	2名
4月23日	火	1名
4月30日	火	1名
5月9日	木	1名

活動を行って見えてきた課題

- ①フェーズによっては本人・家族の思いを優先できない
- ②地域では住民で支え合うことで生活が成り立っていたが、慣れたコミュニティから離れると生活が困難になる
- ③経済的困窮、身寄りがいない、家族からの虐待
- ④家族も被災。本人と家族が別の避難所にいる。被災状況によってはキーパーソンが変わる。キーパーソンが精神疾患を抱えている
- ⑤地元に戻り家で生活をしたいが、ライフラインが整わない
介護サービスがない。地域資源の不足。
- ⑥ケアマネジャーの事業所も廃業する場合がある

個人的な感想

①施設の紹介に常に迷いや不安があった

②厚労省や県から通知の理解に自信がない

③能登の地理が曖昧

④金沢以外の施設のことがよくわかっていない

災害支援の石川県介護支援専門員協会の課題

災害が発生した際の災害支援に対する

協力者の
選定方法

協力依頼の
発信方法

金沢市で地震が起こった場合

金沢市の人口

(2025年9月1日時点)

45万4025人

【最大の脅威】 森本・富樫断層帯

- ・地震規模：マグニチュード7.2程度
- ・30年内の発生確率：2～8%(全国的にも危険なSランクに分類)
- ・影響範囲：津幡町から金沢市を経て白山市まで

【想定される被害】

- ・揺れと震度：金沢市の一部で最大震度7
周辺地域(白山市、津幡町、野々市市など)で震度6強～弱

【人的・物的被害予測(冬の朝5時発生の場合)】

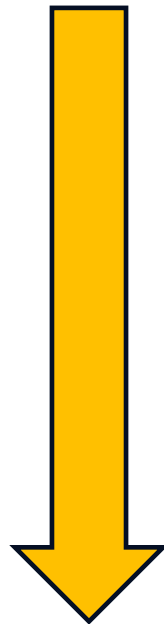
- ・死者数：最大約2,212人(うち金沢市が1,788人で全体の約8割)
- ・建物被害：全壊・火災による全焼:約46,947棟
全半壊を含む被害建物:10万棟以上
- ・液状化の危険性：かほく潟周辺 大野川周辺 金沢平野の軟弱地盤地域

金沢市 避難行動要支援者名簿活用・ 個別避難計画作成

ガイドブック



個別避難計画の作成



市民一人ひとりの行動

自助

身の回りの安全を確保して、最低限の水、食料、生活用品を準備するなどの自主行動です。

この3つの行動が、
災害に対するもっとも重要な基盤です

自主防災会など
地域団体の行動

共助

災害の発生に備え、集団避難の要領、連絡体制など助け合える基盤づくりです。（ご近所との日常的な交流を心がけてください）

公助

金沢市をはじめ、
国や県、消防、
警察、自衛隊など
公的機関の行動

人命救助、消火、医療などから、
まちの復興・再建までの公的機関
としての役割を果たすことです。

金沢市個別避難計画作成ガイドブックより引用

ケアマネジメントへ活かす

居宅サービス計画書（1）

作成年月日

〇年〇月〇日

初回 ・ 紹介 ・ 継続

認定済 ・ 申請中

利用者名 介護 花子 殿 生年月日 年 10 月 12 日 住所 東京都千代田区神田小川町

居宅サービス計画作成者氏名 介護 太郎

居宅介護支援事業者・事業所名及び所在地 みどり居宅介護支援事業所

居宅サービス計画作成(変更)日 〇 年 〇 月 〇 日 初回居宅サービス計画作成日 〇 年 〇 月 〇 日

認定日 〇 年 〇 月 〇 日 認定の有効期間 〇 年 〇 月 〇 日 ~ 〇 年 〇 月 〇 日

要介護状態区分	要支援 ・ 要支援 1 ・ 要支援 2 ・ 要介護 1 ・ 要介護 2 ・ 要介護 3 ・ 要介護 4 ・ 要介護 5
---------	---

利用者及び家族の生活に対する意向	本人：息子たちに心配をかけないようにしたい。近所に知り合いがいないので、一人でいる時が心配になる。 「川柳や俳句の会にこれからも参加したい。お風呂に入ると体の痛みもどれて生き返ります。」と話す。 長男：入浴の世話や日中など私の不在時の介護や安全への配慮をお願いしたい。できるだけ外に出て、楽しみを作りたい。 ※地震等、災害発生時への不安が大きい、災害が起こった場合には、本人が安全に避難が出来るようにしておきたい。
------------------	---

介護認定審査会の意見及びサービスの種類の指定	
------------------------	--

総合的な援助の方針	少しずつこちらの生活に慣れてきているようです。「長男のどころに来て本当によかった」と思っていけるように ご近所とのつながりや地域の社会資源を活用しながら、安心してこの町で生き生きと暮らしていけるようにしていきます。 ※地震等の災害に備え自宅の安全確保及び、発災時には安全な場所へ迅速に避難が出来るよう、近隣住民を始め地域の関係者も含め関係機関と必要な対応策について検討していきましょう 緊急連絡先：長男 090-xxxx-xxxx 次男 03-xxxx-xxxx 主治医 03-xxxx-xxxx
-----------	---

生活援助中心型の算定理由	1. 一人暮らし 2. 家族等が障害、疾病等 3. その他 ()
--------------	-----------------------------------

居宅サービス計画書 (2)

利用者名 介護 花子 殿

生活全般の解決すべき課題(ニーズ)	援助目標				援助内容					
	長期目標	(期間)	短期目標	(期間)	サービス内容	※1	サービス種別	※2	頻度	期間
お風呂に入って心も身体もフレッシュしたい。	膝の痛みが増強しないように、身体の清潔を保ち心身ともに温まる。	～	冬の寒い時期を皮膚のトラブルなく健康でいられるようにする。	～	本人のペースで着脱・移乗・洗身介助、座位保持の支援や皮膚観察。	○	通所介護	〇〇デイサービスセンター	週3回	～
昔からやっていた手芸や川柳を行っていきたい。		～		～		○	通所介護	〇〇デイサービスセンター	週3回	～
食事の用意や投薬の管理を支援してほしい。		～		～		○	訪問介護	〇〇訪問介護センター	週2回	～
長男の長期出張や不在時の対応を考えたい。		～		～		○	短期入所生活介護	〇〇短期入所事業所	必要時	～
地震等の災害が発生しても、安心して過ごせるように予め対応策を立てて(考えて)おきたい	自宅の安全が確保されること。また、発災時には、迅速な避難支援が受けられ適切にケアが受けられるようにする。	～	災害時要援護者台帳への登録の必要性について確認する	～	台帳登録への必要性を説明し、登録手続きを行う。		災害時要援護者支援	自治会、民生委員	－	～
			近所の方との繋がりが出来、発災時、迅速な避難支援が受けられるよう、自治会を始め関係機関と連携し、避難支援に関する役割分担を明確にしておく	～	日々の地域行事等へも率いずで積極的に参加し、近隣住民との繋がりを深める 発災時には、自宅→避難所→〇〇短期入所事業所又は、△△医療機関の順での避難支援が迅速にできるよう確認をしておく		地域ボランティア、自治会	地区福祉委員 民生委員 近隣住民	随時	～
				～	発災時、適切なケアが受けられるよう、介護保険事業所に対し、定期的な情報提供を行い、対応方法等についての確認をしておく	○	状態確認 避難支援 避難生活支援	避難支援者となる近隣支援者、自治会等の地域関係者	随時	～
				～	耐震診断や耐震補強工事の助成申請を行い、必要な対策を行う 助成申請を行い、家具転倒防止(予防)器具等の取付を行う		家族 〇〇役所	長男 〇〇課 〇〇課	随時	～

金沢市のように地震リスクが高い地域では、 「医療と介護の切れ目をなくす仕組み」を平時から整えることが必要

情報整理:利用者名簿・連絡先・医療依存度一覧を印刷し、持ち出しファイル化

医療連携:主治医・薬局・訪問看護の災害時連絡手順を確認

ハートネットホスピタル(医療情報の共有)、ACPメモ作成(災害時にもACPの考えた方が重要)
ケアマネタイム(主治医との連携/相談しやすい関係づくり)

自身の防災:事業所の安否確認ルール、連絡網を整備、BCPの作成

ネットワーク:地域包括・民生委員・サービス事業所・各団体と顔の見える関係を持つ
地域の団体の役割を知っておくこと、防災訓練に参加する

- ・ 金沢市地域防災計画(金沢市ホームページ)に目を通してみる。
- ・ かなざわコミュニティ防災士ネットワークでは出前講座をしてくれる。
- ・ 金沢市障害者基幹相談支援センターの存在や役割を知っておく。
- ・ 家族に相談支援専門員さんがついている場合は、普段から連絡を取りあう。
- ・ 石川県介護支援専門員協会への加入もお願いします。

まとめ ～能登半島地震の経験を今後に活かすために～

◆災害時の支援においては「連携」と「情報共有」が何よりも重要

◆介護支援専門員は災害時こそ「つなぐ」「調整する」力を発揮できる

最後に

石川県介護支援専門員協会より、
避難者の受け入れにご尽力いただきました施設の皆さま
に、深く感謝申し上げます。

ご清聴ありがとうございました